

令和7年3月

関係者各位

泉の学び舎世田谷区立池尻小学校長

間宮 英二

今年度の改善結果及び次年度に向けた改善方策

(学校関係者評価委員会からの報告を受けて)

令和7年度重点目標の取り組みに当たり、令和6年度学校関係者評価委員会報告書でご指摘いただいたことを基に、来年度の重点目標について以下のように進めて参ります。

重点目標1

「主体的に考え、協働的に学び合える児童の育成」

- 6年生児童アンケート「私は相手の思いや考えを真剣に聴いている。」「私は自分の思いや考えを友達の前で話すことができる。」「私は友達のよいところを見付け、友達と協力している。」の項目では、昨年度も肯定的評価が高かったが、今年はさらに高くなっている。委員会からの指摘のとおり、学校行事や最上級生となった縦割り班活動などで責任ある立場で主体的に活動する機会の影響が考えられる。来年度は縦割り班活動をさらに充実させ、児童が主体的に活動する機会を多く設定する。また、低学年、中学年、高学年ごとに行う遠足では、上学年と下学年とが、豊かに関わり合う活動の機会を設定する。
- 委員会からは、コミュニケーション能力や仲間と協力する力が向上したと感じている児童が増えているとの報告があった。来年度は、総合学習の内容を再編し、仲間と協働し主体的に学習に取り組む機会の多くなる学習を多く取り入れていく。
- 保護者アンケート「学校行事の内容は充実している」の設問に対しては、全回答者から肯定的評価をいただいた。委員会からの進言のとおり、来年度も児童の主体的な活動、一人ひとり活躍の場を保障する学校行事を計画していく。
- 児童アンケート「学校生活は楽しい」「学校が好き」の項目においては、肯定的評価が減少している。委員会からの提案のように、学校行事をさらに充実させ、児童が主体的に活動する機会を多く設定する。今年度の運動会、学芸会、周年行事の在り方を検討していく。また、特別活動において、児童の主体的な活動について再考し、特別活動の再編を図る。
- 学び舎に関しての設問に対して、今年度も否定的な評価が多く見られる。委員会からの進言のとおり、進学先の中学校の情報が伝わっていないことは児童・保護者の不安につながる。中学校との連携をさらに図り、その活動についての情報を発信していく必要がある。来年度早々に行われる学び舎連絡会において決定した活動や意義について、保護者へ発信を行っていく。

重点目標 2

「豊かに関わり合い、互いに高め合う児童の育成」

- 児童アンケート「先生たちに相談できる。」への否定的回答の割合が上昇している。委員会の指摘のとおり、学校や教師に対する信頼が低下も予想される。教師が子どもたちに豊かに関わる機会がもてるように、時間的にも精神的にも余裕がもてるように日々の計画を立案する。また、児童の日々の活動において、多様なよさの見取りをしっかりと行うことができるように、研修会や夕会などの時間を使い、児童の多様なよさの見取りを深める研修の時間を設定する。
- 保護者アンケートにおいて、キャリア教育について「分からない」という評価が多かった。来年度、旧池尻中跡地にオープンする施設に入所する企業と連携し、本校ならではのキャリア教育をスタートさせる。入所企業と連携する指導計画を作成し、保護者にも計画や活動状況を発信していく。
- 委員会からの指摘のとおり、地域の方々から「学校の様子が分かる」という項目に対して地域の方々から「分からない」という評価が多くあった。来年度は、保護者だけではなく、地域の方々へも学校の様子を知っていただくために、学校公開のお知らせやお誘いをしっかりと行っていく。また、委員会からの指摘のとおり、学校からの情報提供や意見交換の場の必要性を感じている。来年度は、学校公開などの場面で、教職員と保護者、地域の方々語り合う場の設定を考える。
- 地域アンケートで「あいさつ」についての項目では、否定的評価が多く見られた。互いに豊かに関わり合う学校教育においては、大切にしなければならない項目である。これについては、学校としても課題と考えているところがあり、来年度の重点項目として全校で取り組んでいく。これについては、すでに教育課程にも取り入れ、教育委員会に提出をしている。

重点目標 3

「主体的に運動しようとする児童の育成」

- 健康教育では、これまでの「すこやかタイム」を継続し、児童の健康についての意欲関心の向上を図る。また、体育の年間指導計画と体育集会との兼ね合いを明確にし体力の向上を図る。
- 昨年度同様、児童、保護者とも早起きに関する項目の肯定的評価が低かった。学校関係者評価委員会の報告書にもあるとおり、体育の時間や休み時間を利用して十分に遊びや運動の機会を保障し基礎体力を養い健康の保持増進を図る必要がある。そこで、来年度は、隔週月曜日に朝遊びの時間を設定し、楽しんで体を動かすようにさせる。その活動を中休み昼休みと継続することができるようにする。